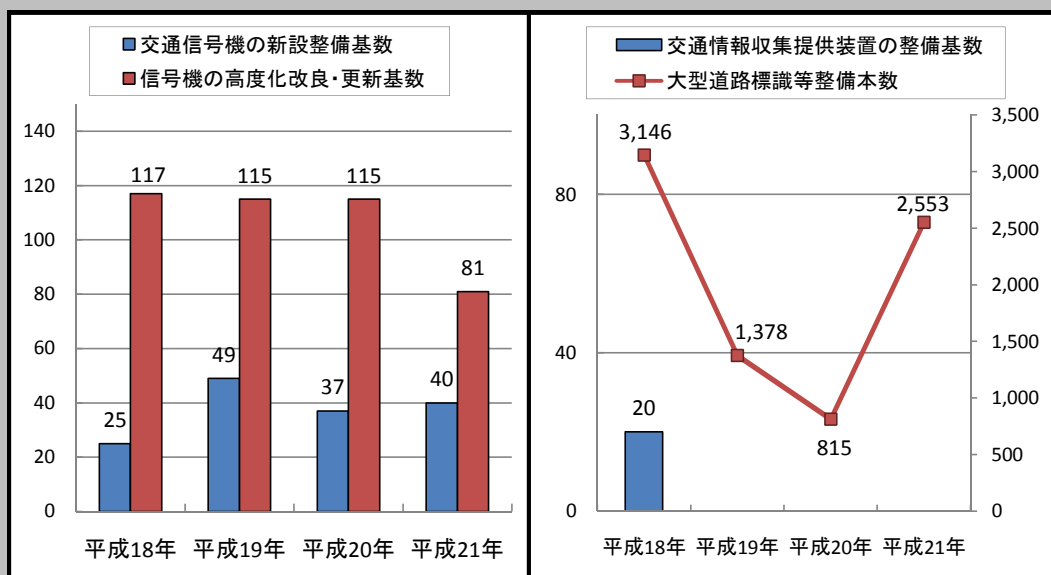


業務名

安全で快適な交通環境の整備

○業務に関する統計

項 目	統 計 の 推 移				
交通信号機の新設整備基数	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	単位
	25	49	37	40	基
信号機の高度化改良・更新基数	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	単位
	117	115	115	81	基
交通情報収集提供装置の整備基数	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	単位
	20	—	—	—	基
大型道路標識・路側道路標識の整備本数	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	単位
	3,146	1,378	815	2,553	本



○業務の主なコスト

No.	事業名	平成21年度事業費(千円)	平成22年度事業費(千円)
1	国補交通管制センター設置費	112,420	111,883
2	国補交通信号機設置及び改良費	117,917	64,735
3	国補交通安全施設調査費	5,994	4,682
4	国補道路標識設置費・標示塗装費	32,077	11,427
5	国補くらしの道交通安全施設整備費	49,949	55,076
6	県単交通信号機設置及び改良費	17,871	69,629
7	道路標識設置費	11,316	9,301
8	交通安全施設地中化事業	34,556	9,500
9	交通信号灯器等緊急整備事業費	33,508	—
10	信号灯器更新整備事業費	91,560	—
11	県単くらしの道交通安全施設整備費	36,556	89,366
12	道路標識設置費	113,978	—
13	道路標示塗装費	—	83,289
14	パーキングメーター等維持管理費	42,189	59,372
15	交通安全施設維持管理費	532,588	563,139
16	道路標示・標識点検事業費(緊急雇用創出事業)	39,900	114,579
合 計		1,272,379	1,245,978

○平成21年の取組み

- 交通事故を防止し、安全で快適に通行できる交通環境を確保するため、信号機やLED灯器、道路標識等の交通安全施設の整備を推進した。
 - ・県民しあわせプラン第2次戦略計画の重点事業として「くらしの道交通安全施設整備事業」に取り組み、交通環境の変化等に対応し、安全で快適な交通環境を確保するため、必要性・緊急性の高い交差点において信号機40基を整備した。
 - ・既設信号機の機能の向上を図り、交通実態に対応した運用を行うため、プログラム多段系統化のほか、多現示改良、右折感应化、高齢者感应化、視覚障害者用付加装置などの信号機高度化改良事業（合計81基）を実施した。
 - ・道路標識、道路標示の新設とともに、耐用年数、老朽度合いを考慮し、建替、塗替を行った。
 - ・交通弱者を保護するための交通規制の実施、道路管理者等関係機関と連携した総合的な事故防止対策など、安全で安心な交通環境の確保に努めた。
- 安全・快適で、環境にやさしい交通社会の実現を目指し、交通管制システムの高度化を推進した。
 - ・四日市市等の管制信号機13基の高度化更新、松阪市等の情報収集装置の新設を行った。
 - ・朝夕のラッシュ時に渋滞が顕著な松阪市から多気郡多気町の国道42号の約3.8キロメートルの区間（6信号交差点）を管制エリアに組み入れた。

○課題と平成22年の取組み

- 交通管制システムの高度化により、交通の安全と円滑を図り、交通渋滞の解消に努める。
 - ・信号制御下位装置更新、テレビカメラ1式を整備し、渋滞解消に努める。
- 交通信号機の新設・高度化改良、道路標識等の整備を計画的に推進する。
 - ・「くらしの道交通安全施設整備事業」等において新設信号機40基、信号機の高度化改良48基、道路標識360本等を整備する。
- より合理的な交通規制の推進
 - ・最高速度規制等を重点とした交通規制の点検、見直しを推進する。